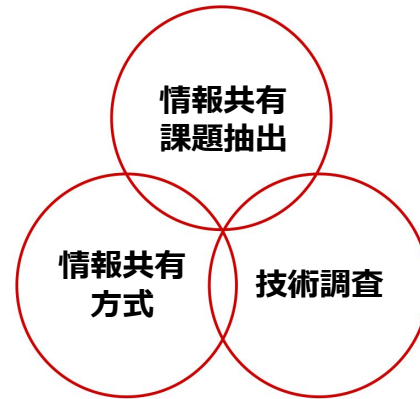


主に取り組む3つの分野



課題抽出：情報共有に関わる技術課題を抽出
 共有方式：情報共有に関わる技術課題対策を検討
 技術調査：関連技術調査を実施

期待される3つの成果

情報共有と活用に関わる
技術課題抽出

脅威・脆弱性情報
記述方式の策定

STIX等の関連技術調査



情報共有プラットフォーム検討SWG

J-Auto-ISACの情報共有と情報活用を 促進・効率化するための技術課題を解決する

毎月一回の定例会議を開催。
 J-Auto-ISACの将来像を見据えて、情報の利用シーンや技術課題を議論しています。
 特に、脅威・脆弱性情報の取り扱いを機械化することで、インシデント対応の効率化を
 目指しています。OEM、サプライヤ、セキュリティ専門会社など幅広いメンバーが参画し、
 他業界との情報交換も行いながら、最新技術動向を踏まえた検討を行っています。



アウトプットした過去実績

2021年度 情報共有に関わる技術課題の抽出
 2022年度 脅威・脆弱性情報記述方式（STIX）1次案の策定
 2023年度 1次案に対して情報公開範囲記述仕様の追加

グループメンバーの声

OEM

まさに自社で抱える課題に直結する内容であり、広い意見が聞けて役に立つ。

グループメンバーの声

サプライヤー

他ISACとの情報交換など、他業界の最新動向も把握できて意義深い。